

梅はその日の難のがれ

7月30日は

梅干の日



「梅干の日」をPRするのほりとチラシ

7月30日

「梅干の日」

みなべでアピール

「梅干の日」(7月30日)を消費者に知ってもらおうと、みなべ町東本庄の梅干製造販売会社「東農園」(東

善彦社長)はのほり約40

0本とチラシ3万枚でアピールし、消費拡大を図っている。

一年で最も暑くなるこの時期に、梅干しを食べて健

康を維持してもらおうと、2004年に日本記念日協会に登録。今年の恵方は南南東で、30日の卯の刻(午前6~8時)にこの方向を向いて梅干しを食べると、

気が高まって精気がみなぎる、としている。

同社は30日まで、みなべ町の本社と和歌山近鉄百貨店など計15か所のデパートで、3000円以上の買い

物客に梅ごまや梅ドレッシングなどをサービスする。